

岩崎の獅子舞見学会

2018-10-15 記 稲村 貢

実施日時：2018年10月13日（土） 12:30～14:15

参加者：25名（葵の会、アジア研究会会員他を含む）

10月13日に所沢市山口の瑞岩寺境内で行われた「岩崎の獅子舞」見学会には野老澤の歴史を楽しむ会及び葵の会、アジア研究会の会員、会員の知人を含めて25人の参加がありました。

当日は若干肌寒い曇り空の下でしたが、境内では地域近隣や市全域から200数十名の皆様が見守る中、午後1時15分より1時間を超える獅子舞が披露されました。

岩崎の獅子舞は1614年（慶長19年の大坂夏の陣の年）に始まり、今日までで404年も伝承されてきたものと知らされて、改めて岩崎地区の獅子舞保存会の方々の心意気に感心させられました。

境内の真ん中で8本の竹と紅白の縄で円形に仕切られた踊り場で、まず地元中学生による4人の棒使いによる杖術が行われ、そのあとに山伏を先頭にささら子（地元の小学生）3人、蠅追い1人、獅子3人が笛6人の演奏に合わせてゆっくり登場し、いよいよ獅子舞が始まりました。





獅子舞について獅子舞保存会の塚田順子さんによる解説が逐一なされていましたので、見物者には獅子舞の仕草が悪病除け、火除け、子孫繁栄を祈願していることが手に取るように受け止めることが出来ました。

それだけに岩崎地域の方々が400年余りも連綿と続けてきたこの獅子舞の重みと迫力がみなぎる大熱演で会場全体が感動に包まれました。

岩崎の獅子舞は昭和44年に所沢市の無形民俗文化財に指定され、毎年10月の第2土曜日に披露されていますので、まだ見ておられない方には所沢市民として十分に一見に値する文化財ですので、ぜひ見学されることをお勧めします。

